

## 神奈川県

月 日	6月20日～7月19日(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施期間)
開催場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年7月に横浜駅等で実施している街頭キャンペーンは中止
活動主体	県薬剤師会、神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議(薬物乱用防止指導員協議会、麻薬等薬物相談員会、保護司会連合会、横浜税関、県内関係機関等182団体)、市町村、教育委員会、県警察本部等
参加人員	各キャンペーン中止のため、集計していない
活動状況	薬物クリーンかながわ推進会議が中心となり、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施期間中に県内各地において、各関係機関・団体及び市町村にポスターの掲示、募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。 その他、県内大学において学生向けの情報提供を目的に開設しているサイトを活用し、県内の大学生に向けて薬物乱用防止を呼び掛けた。

## 新潟県

活動主体	新潟県、新潟県薬物乱用対策推進本部(新潟県教育委員会、新潟県警察本部、新潟県地方検察庁、新潟海上保安部、新潟保護観察所、新潟税関支署、新潟労働局、新潟少年鑑別所、東京入国管理局新潟出張所、一般社団法人新潟県医師会、新潟県精神科病院協会、公益社
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動主体	団法人新潟県薬剤師会、新潟県市長会、新潟県町村会、新潟県薬物乱用防止指導員、一般社団法人新潟県歯科医師会、新潟県青少年健全育成県民会議、社会福祉法人新潟県社会福祉協議会、日本ボーイスカウト新潟連盟、一般社団法人ガールスカウト新潟連盟、国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所、ライオンズクラブ国際協会333-A地区、公益社団法人新潟県防犯協会、公益社団法人新潟県食品衛生協会、公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター、一般社団法人新潟県医薬品登録販売者協会、新潟県医薬品配置協議会、日本医薬品卸勤務薬剤師会、新潟県支部、新潟県高等学校野球連盟、新潟県ラグビーフットボール協会
活動状況	①新潟県警察ノードラッグ大使による啓発キャンペーン 新潟県警察ノードラッグ大使のNeggicc(アイドルユニット)、TSUNEIさん(シンガーソングライター)、稲垣啓太さん(ラグビー選手)からいただいたメッセージを県公式YouTubeチャンネル及びTwitterで公開し、薬物乱用防止を呼びかけた。 ※「6・26ヤング街頭キャンペーン」の代替となる普及啓発活動 ②その他 県庁構内等で薬物乱用防止啓発の横断幕ポスターを掲出するとともに、庁舎内の生協売店や金融機関等に国連支援に係る募金箱を設置し、来庁者等に対して啓発を行い、募金の協力を呼びかけた。

## 富山県

活動主体	富山県薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会(41団体)
活動状況	富山県薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会参加団体の協力を得て、ポスターの掲示や啓発資材の配布を行った。また、国連支援募金運動への協力を呼び掛けた。県のホームページにおいて、本運動の周知を行った。

## 石川県

活動主体	県、警察本部、金沢市保健所、薬剤師会、保護司会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会、ライオンズクラブ、更生保護女性連盟、BS連盟、ボーイスカウト、ガールスカウト等
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 中止 ②地域団体キャンペーン 6月20日から7月19日までの期間、薬剤師会等の地域団体の協力を得て、薬局や生活衛生営業施設等にポスターを掲示して啓発を図るとともに、募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼び掛けた。

## 福井県

活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 例年ショッピングセンター等で実施していた街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、中止とした。
------	-------------------------------------------------------------------------------

②地域団体キャンペーン  
病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店等の各関係機関・団体および市町にポスターの掲示および募金箱の設置を依頼し、キャンペーンの周知と国連支援募金への呼びかけを行った。

③その他  
6月22日から1週間、福井県庁1階ホールで薬物乱用防止啓発パネル展を実施した。また、キャンペーン期間に限らず、各学校の要望に応じて、薬物乱用防止啓発パネル展を実施している。



福井県

### 山梨県

月 日	6月20日から7月19日
開催場所	県内各関係団体
活動主体	県、県薬物乱用対策推進本部、県各地区薬物乱用防止指導員協議会、県警察本部、警察署、市町村、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会、クリーニング生活衛生同業組合、学校、ポ

参加人員	イスカウト、ガールスカウト等 約750人
活動状況	地域団体キャンペーン 運動期間中、各関係機関・団体や市町村役場等にリーフレットその他啓発資材等の配布を行うとともに、ポスターの掲示、募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。

### 長野県

活動主体	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動長野県実行委員会 4機関・23団体 県、県薬物乱用対策推進協議会、地区薬物乱用対策推進協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県医薬品卸協同組合、県製薬協会、県医薬品登録販売者協会、県医薬品配置協議会、県保護司会連合会、県子ども会育成連合会、ライオンズクラブ国際協会334-E地区、国際ロータリー第2600地区、県ホテル旅館生活衛生同業組合、県美容容業生活衛生同業組合、県クリーニング生活衛生同業組合、県理容生活衛生同業組合、県公衆浴場業生活衛生同業組合、日本ボーイスカウト長野県連盟、ガールスカウト長野県連盟
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン(中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度の街頭キャンペーンは中止した。 ②地域団体キャンペーン 病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店、理・美容所、クリーニング店、ホテル・旅館、公衆浴場、

自動車教習所等約9,000施設において、ポスターの掲示と一声運動を実施した。  
また、薬局・薬店約1,100店舗の店頭に募金箱を設置し、国連支援募金に協力した。

### 岐阜県

活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 中止 ②地域団体キャンペーン 岐阜県薬物乱用対策推進本部を構成する各団体、県内各高等学校・大学等に対して、ポスターの掲示や募金箱の設置等の協力依頼を行った。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 静岡県

月 日	①6月20日～7月19日 ②6月1日～6月28日 ③6月22日 ④7月5日 ⑤7月6日 ⑥7月8日
開催場所	①静岡県熱海総合庁舎、静岡県中遠総合庁舎、浜松市保健所 ②NHK、SBS地上デジタルテレビデータ放送 ④岳麓新聞、日刊静岡 ③⑤コミュニティFM(県内12局) ⑥SBSラジオ(A.M局)、K・Mix(F.M局)
活動主体	静岡県、静岡県薬物乱用対策推進本部、静岡県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、静岡県薬物乱用防止指導員協議会、各市町、一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟、一般社団法人ガールスカウト静岡県連盟、ライオンズクラブ国際協会334-C地区、国際ロータリー第2620地区、国際ソロプチミスト静岡、一般社団法人

人静岡県医師会、一般社団法人静岡県歯科医師会、公益社団法人静岡県薬剤師会、静岡県医薬品登録販売者協会、公益社団法人静岡病院協会、静岡県配置医薬品協議会、静岡県医薬品卸業協会、静岡県製薬協会、静岡県県民生活衛生同業組合、静岡県美容業生活衛生同業組合、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合、一般社団法人静岡県食品衛生協会、静岡県保護司会連合会、静岡県更生保護女性連盟、静岡県カラオケBOX協会、日本塗料商業組合静岡県支部

### 活動状況

#### ○6・26ヤング街頭キャンペーン

- ・期間中、県総合庁舎、政令市保健所において、薬物乱用防止啓発パネルや薬物標本の展示によるパネル展を実施し、啓発用リーフレットやポケットティッシュを配架し、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。
- ・期間中、NHK、SBSの地上デジタルテレビのデータ放送にて、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報スポットを放送した。
- ・県民だより6月号に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。
- ・7月5日、岳麓新聞及び日刊静岡に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。
- ・6月22日、7月6日に県内12局のコミュニティFMにて「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報スポットを放送し、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。
- ・7月8日、SBSラジオ(AM局)、K・Mix(FM局)にて、ラジオ広報番組「県庁ニュース ふじのくに」に出演し、「ダメ。ゼッタイ。」普及運

動の広報を行い、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。  
○地域団体キャンペーン  
各市町及び関係団体等の協力を得て、県内各所に啓発用ポスターを掲示するとともに、募金箱を設置して国連支援募金への呼び掛けを行った。



静岡県

## 愛知県

月 日	開催場所	活動主体
普及運動期間中 (6月20日(土)から7月19日(日)まで)	愛知県内各地	愛知県、愛知県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、15地区薬物乱用防止推進協議会(薬物乱用防止指導員、ライオンズクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト、保護司会、更生保護女性連盟、各市町村、警察等)

### 活動状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県主体の街頭活動は中止し、保健所等での募金箱の設置や県内のスーパー及び県内関係団体事務所等で麻

薬・覚醒剤等の乱用防止に関するポスターの掲示を行った。その他、知事の会見で用いるバックボードの作成や名古屋競馬場の電光掲示板標示を行い、薬物乱用防止の周知を図った。



愛知県



三重県

## 三重県

### 月 日

6月20日から7月19日



議会
参加人員 6人

### 活動状況

本年度は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止の観点から、地域の実情等に合わせ、神戸地区のみ街頭キャンペーンを実施した。実施の際は、活動参加者を最小人数の6名（会長及び事務局員）とし、啓発用ビブスに加え、感染防止対策のためマスクと手袋を着用の上、買い物客が戻りつつある神戸元町商店街内で、人の滞留が無いよう活動参加者も点在しながら、啓発用リーフレット及び啓発用ウエットティッシュを配布し、薬物乱用の害や危険性を訴えた。

街頭キャンペーンを中止とした11地区を含め、各事務所内外で、来庁者等への啓発グッズの配布、ポスターやのぼり、啓発パネル、募金箱等の設置や、主要な駅に横断幕を掲げる等、地域住民への啓発を行った。



兵庫県

## 奈良県

### 活動状況

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず街頭キャンペーンを行わず、代わりにポ

スター掲示による啓発を行うこととした。  
警察署や各保健所、県内ライオンズ他各関係団体や県内のコンビニ130店舗、県内イオン各店舗に掲示依頼を行った。

## 和歌山県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	和歌山県内一円
活動主体	和歌山県、和歌山県薬物乱用防止指導員協議会、和歌山県薬物乱用対策推進本部

### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン中止。

② 地域団体キャンペーン  
関係団体等の協力により、啓発ポスターを店頭に掲示するとともに、医薬品関係業者、生活衛生関係業者の店舗や職場において、国連支援募金活動を実施した。

## 鳥取県

月 日	令和2年7月
開催場所	県内全域
活動主体	鳥取県

### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、街頭キャンペーンについては、県内各地区とも中止とした。

② 地域団体キャンペーン

各団体はもとより、各市町村及び県地方機関等にもポスター、募金箱等を送付し啓発に努めるとも

に、国連支援募金への協力依頼を実施した。  
その他、「子ども向け薬物乱用防止リーフレット」を作成し、県内の全中学生へ配布するとともに、各学校における薬物乱用防止教室の開催等を依頼した。



鳥取県

## 島根県

### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

② 地域団体キャンペーン  
市町村、警察署、医療機関、薬局等の協力によりポスターの掲示やリーフレット等啓発資材の配布を行ったほか、各機関の窓口へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。

## 岡山県

### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン  
岡山県では新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和2年度の6・26ヤング街頭キャンペーンは中止としました。

代替となる普及啓発活動としては以下のとおりです。

- ・普及運動期間中に、高等学校に普及運動のリーフレットを配布した
- ・各高等学校のホームルーム時間等に啓発資料を配布し、薬物の乱用防止を呼びかけた
- ・薬と健康の週間等、他団体の行うイベントに合わせて啓発を行った
- ② 地域団体キャンペーン  
関係機関の窓口等へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけました。

## 広島県

### 活動状況

6・26ヤング街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見送ったため、代替となる活動を次のとおり行った。

- ① 薬務課及び県保健所のホームページに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動についてのページを作成、掲載した。
- ② 保健所内の掲示スペースにポスターを掲示した。
- ③ ラジオ番組に出演した。

月 日 6月17日(水) 17:20～17:30

番組名 イブニングスペシャル(FMみはら)

概要 薬物乱用防止の啓発活動についてパーソナリティーと対話形式で、生放送を行った。  
担当 (広島県東部保健所生活衛生課)

## 山口県

月 日	開催場所	活動主体
① 6月15日～26日 ② 6月17日	① 山口県庁 ② ラジオ	山口県健康福祉部薬務課

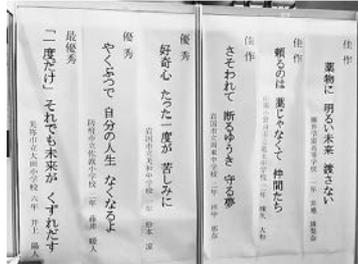
### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン  
今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

② 地域団体キャンペーン  
(1) 山口県庁において、薬物乱用防止普及啓発に係るポスターや令和元年度薬物乱用防止ポスター及び標語の入賞作品の展示を行った。また、啓発物(リーフレット、クリアファイル等)も配置し、薬物乱用の恐ろしさを来庁者に訴えた。

(2) 山口県独自の取組である、薬物乱用の無い安心・安全な社会を築くことを目的とした、「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用」県民キャンペーン(6月10日～8月31日)について、ラジオ放送により周知した。

また、薬物は自らの体や心だけではなく、家族や周囲の人々の人生も取り返しのつかないものにしてしまうことを広く訴え、「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、「薬物乱用のない安心・安全な山口県」の実現への協力を求めた。



山口県

## 徳島県

月 日	活動主体
6月20日～7月19日まで	(地域団体 キャンペーン)

### 開催場所

県下一円(地域団体キャンペーン)

### 活動主体

県、県薬物乱用防止協議会(県下6地区協議会)

### 活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン  
本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のため、薬物乱用防止指導員のほか、中学生、高校生をはじめとするヤングボランティア、各警察署、ライオンズクラブ等の関係機関・関係団体の協力を得ての開催が困難となったことや、感染拡大を防止するため、例年実施をしてきた6・26ヤング街頭キャンペーンは中止となった。

② 地域団体キャンペーン  
薬物乱用防止地区協議会及び薬物乱用防止指導員を活動主体として、県内市町村役場、各事業所、店舗等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターの掲示や募金箱の設置を行い、国連支援募金活動を実施した。



徳島県

## 香川県

月 日	活動主体
6月20日～7月19日	香川県、各保健所薬物乱用防止対策連絡協議会、香川県麻薬・覚醒剤・シンナー禍対策推進員、市町、警察署、保

開催場所	四国中央市、西条市、今治市、松山市の計4ヶ所
月 日	6月16日～7月20日

## 愛媛県



香川県

活動状況	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、パレード等のイベントは中止とした。県下4箇所の薬物乱用防止対策連絡協議会が中心となり、市町、警察署、ライオンズクラブ等の関係機関・民間団体の協力を得て、県内の各施設において募金箱の設置やポスターの掲示を行った。 また、小豆地区においては、「6・26国際麻薬撲滅デー」街頭キャンペーンの代替として、令和2年10月24日に「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」に併せて、薬物乱用防止キャンペーンを実施する予定。
活動主体	護観察所、税関支署、海上保安署、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト、少年育成センター、更生保護女性会、保護司会、薬剤師会、小学生、中学生、高校生、教員 等

## 活動主体

高知県、高知県薬物乱用防止推進連絡協議会、東部・中央東・高知市・中央

## 高知県



愛媛県

活動状況	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、例年実施している街頭でのパレード等は開催を見送り、薬物乱用のない社会環境づくりを目指し、関係施設における薬物乱用防止パネル展を実施した。その他、薬物乱用防止啓発用ポスター作品の掲示やパネルの展示に併せ、リーフレット、絆創膏、その他ポケットティッシュ等の啓発資材を配布して、薬物乱用防止を広く県民に呼びかけた。
参加人員	10名（主催者側）
活動主体	愛媛県、愛媛県薬物乱用防止指導員協議会（愛媛県保護司会連合会、ライオンズクラブ、愛媛県薬剤師会、愛媛県薬業協会、愛媛県少年警察ボランティア協会、愛媛県配置薬業協会、愛媛県ジュネリック販社協会、愛媛県登録販売者協会）

活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実
活動主体	

開催場所	福岡県内一円
月 日	令和2年6月20日～7月19日
活動主体	県、県薬物乱用対策推進本部、ライオンズクラブ国際協会3371A地区、福岡県麻薬協会、(公社)福岡県医師会、(一社)福岡県歯科医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(一社)福岡県医薬品登録販売者協会、福岡県医薬品卸業協会、(公社)福岡県医薬品配置協会、(公社)福岡県製薬工業協会、福岡県医療機器協会、福岡県保護司会連合会、福岡県更生保護女性連盟、福岡県BBS連盟、日本ボーイスカウト福岡県連盟、(一社)ガールスカウト福岡県連盟

## 福岡県

活動状況	例年、県下6地区の薬物乱用防止推進協議会が中心となり、ヤングボランティア等の協力を得て、パレード等の街頭キャンペーンを実施し、薬物乱用防止の啓発資材の配布や募金活動等を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区の状況に応じて、イベントの中止もしくは実施の延期を検討している。
活動主体	西・高稜・幡多の各地区薬物乱用防止推進協議会、ヤングボランティア(ボーイスカウト、小学生、中学生、高校生、大学生等)、民生委員、保護司、ライオンズクラブ国際協会3361A地区、関係行政機関職員